

標 題 平成30年産シャインマスカット品評会で若手生産者が島根県知事賞獲得！

(ダイジェスト)

平成30年産シャインマスカット品評会で、出雲市の認定新規就農者である門脇雅宏氏の出品したぶどうが「1房化粧箱の部」で「島根県知事賞」を受賞しました。

今年は、2月の大雪、夏場の高温少雨の影響で栽培しにくい環境条件のなか、出品された品はどれも甲乙つけがたいすばらしい品質に仕上がっていました。

平成30年8月2日、JAしまねが主催するシャインマスカット品評会が開催されました。島根産シャインマスカットの栽培技術の向上やPRと消費拡大を目的として、「1房化粧箱の部」と「5kgダンボールコンテナの部」に分かれて開催されています。

今年は、2月の大雪、7月以降の高温少雨の影響が心配されるなか、多くの出品があり、門脇雅宏氏の出品物が「1房化粧箱の部」で第1席である「島根県知事賞」を受賞しました。粒の大きさ、粒の揃い、房型のバランス等が優れ、その品質を高く評価されての受賞でした。

門脇氏は、平成27年からJAしまね出雲地区本部ぶどう部会大粒系部の一員としてシャインマスカット栽培に取り組んでおり、ぶどうリースハウス事業を活用して就農した最初の世代でもあります。今年からJAしまね出雲ぶどう部会大粒系部の役員になるなど産地からも大きな期待が寄せられています。

また、今年度は普及部が門脇氏の園に設置したシャインマスカットのGA1回処理による省力実証ほは、地域の見本となる管理で展示効果は高く、栽培講習会（房作り、枝管理、病害虫防除等）の会場としても活用されています。

今回の品評会では、門脇氏に限らず、出雲の若手生産者の多くが両部門で入賞しており、若手生産者の活躍目覚ましい年となりました。

普及部としても、シャインマスカットの安定的な生産・出荷ができるよう、関係機関と連携しながら産地としてのステップアップを支援していきます。



門脇氏の出品ぶどう



門脇氏の実証ほ場（GA1回処理）